

令和2年度

与謝野町定期監査報告書

令和2年12月

与謝野町監査委員

令和2年度定期監査報告書

第1 監査の概要

- 1 監査の種類 定期監査
- 2 監査の実施日時
令和2年11月11日（水） 午前9時30分～午後3時00分
対象課 商工振興課・企画財政課・住民環境課・農林課・建設課
- 3 監査の主眼及び実施方法
財務に関する事務及びその他の事務が法令等に準拠し、適正かつ効率的に執行されているかどうかを主眼として、所管課から提示及び提出された関係書類の監査と所管課職員から説明聴取及び現地調査を行った。

第2 監査対象の概要と監査結果

- 1 監査の対象及び範囲
令和元年4月1日から令和2年10月31日までににおける財務に関する事務の執行及びその他の事務の執行を主体に監査を実施した。
 - (1) 所管課 商工振興課
 - ・商工会特別事業補助金（シルクプロジェクト）
 - (2) 所管課 企画財政課
 - ・実質公債費比率 R 元年度・H30 年度比較並びに今後の公債費を含む財政見通しについて
 - (3) 所管課 住民環境課
 - ・岩滝最終処分場
 - (4) 所管課 農林課
 - ・農地等保全対策事業（岩屋地区ほ場整備工事）

(5) 所管課 建設課

- ・道路新設改良事業（岩屋大門線道路改良（その1）工事）

2 監査の結果

監査の結果は、概ね良好であると認められたが、次の事項については、特に配慮や取組みの強化が必要である。

(1) シルクプロジェクト（商工振興課）

監査の着眼点としては、「桑園の現状と今後のあり方について」として監査を行った。所管課の現状説明は理解できた。今後の方向性を明確にする必要がある。また、土地の売却も一考である点を所管課に伝えた。

(2) 実質公債費比率 R 元年度・H30 年度比較並びに今後の公債費を含む財政見通しについて（企画財政課）

実質公債費比率を抑制するため、減債基金を活用することはもとより、中期財政計画を早急に立案することが求められている。またその中で、歳入面においては、使用料、手数料等の受益者負担の適正化、歳出面においては、負担金、補助金、委託料、繰出し金等の適正化を図る必要がある。

(3) 岩滝最終処分場（住民環境課）

指摘事項なし

(4) 農地等保全対策事業（岩屋地区ほ場整備工事）（農林課）

指摘事項なし

(5) 道路新設改良事業（岩屋大門線道路改良（その1）工事）（建設課）

指摘事項なし